

政策名	5安全な港	責任者	港営部 港湾管理事務所コンテナ 担当課長	連携担当課 (港営部)港営課 (建設部)管理課、工事課、港湾 工事事務所
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上			
個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する			
事務事業名	07荷さばき地の管理運営(コンテナターミナル)	連絡先	0567-55-2953	

1 PLAN(目的・概要)

目的	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナルを適切に管理し、利用者が使用しやすい状態を保ちます。	事業期間	昭和43年度～継続
概要	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル補修箇所について、利用者の要望を聞きつつ、優先順位を定め実施します。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合港湾施設条例
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度は飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナルのヤード・通路・デリバリーポイントの補修を行います。 ・23年度についても、補修を予定しています。また、利用者からの要望があれば必要に応じて緊急の補修又は補正予算等の要求を行います。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル補修面積	単位	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	目標数値は、ヤードの利用状況によって変わってくるため、具体的に定めることは困難であることから、19年度の実績数値を目標数値としています。
	m ²	実績	3,987	5,971	3,498	13,662			
事業費	単位	目標							
		実績							
人員	正規職員	単位	千円	36,316	47,313	24,195	80,691	24,200	
			人	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	
人員	嘱託職員	単位	千円	8,859	8,945	8,754	9,084	9,353	
			人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	
事業費・人件費の合計	単位	千円	45,175	56,258	32,949	89,775	33,553		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル内事故件数	単位	目標	0	0	0	0	0	0	コンテナヤードの陥没、轍が原因で発生した重大事故の件数を把握します。	
	件	実績	0	0	0	0				
	達成度○/×	○	○	○	○					
	単位	目標								
		実績								
	達成率(%)									
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無	・飛島ふ頭コンテナヤードは公共ヤードであるため、本組合が関与すべき必要性があります。また、コンテナ貨物は今後とも増える傾向にあり、蔵置場所としてのヤード等補修は利用者ニーズが高く、安全確保の面からも必要であります。							公共OTの公設民営化の中においても整理すべき課題と考えます。
	目的・水準の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無								
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input type="radio"/> 無								
	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無	・ヤードの陥没・轍が原因で発生した重大事故はないため、成果目標を達成していると考えます。							
効率性	内容の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無								
	実施主体の妥当性	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	・実施主体については、今後検討していく必要があります。補修工事の財源は利用者からのヤード使用料でまかなっています。また、予算要求にあたっては、利用者の要望を聞き、優先度の高い箇所から補修を行うようにしています。							
	受益者負担の適正性	有・ <input type="radio"/> 無								
	経済性	有・ <input type="radio"/> 無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
利用者との調整を定期的に行い、利用者の要望やヤード使用実績等を勘案し、補修箇所の優先順位を付して予算要求を行います。また、港営課や工事課等と協議し、補修工事のコストを考慮しながら、効率的で効果的な補修を行います。			